



飛驒市

No.81

令和6年5月15日発行

議会だより



春 爛 漫

山田川河畔の桜(神岡町)

議会構成	2
第1回定例会の概要	3～ 9
一般質問(12人)	10～15
お知らせ・編集後記	16



● 議会構成 ●

改選に伴い令和6年第1回定例会初日(3月7日)に、正副議長の選出、各常任委員などを指名し正副委員長等を選出しました。

議長 井端 浩二



副議長 水上 雅廣



総務常任委員会(7人)

委員長	住田 清美
副委員長	籠山 恵美子
	高原 邦子
	前川 文博
	澤 史朗
	水 上雅廣
	中 田 利昭



産業常任委員会(7人)

委員長	上ヶ吹 豊孝
副委員長	森 村勝憲
	野井端 浩二
	谷口 敬信
	小笠原 美保子
	佐藤 克成



議会運営委員会(6人)

委員長	高原 邦子
副委員長	高前川 文博
	籠山 恵美子
	住田 清美
	澤 史朗
	上ヶ吹 豊孝

政治倫理審査会(8人) 任期：4年

委員長	籠山 恵美子
職務代理者	高原 邦子
	高前川 文博
	澤 史朗
	森 上ヶ吹 豊孝
	谷口 敬信
	小笠原 美保子

広報広聴特別委員会(7人)

委員長	水上 雅廣
副委員長	小笠原 美保子
	住田 清美
	森 村勝憲
	上ヶ吹 豊孝
	中田 利昭
	佐藤 克成

議会選出監査委員

澤 史朗

古川国府給食センター利用組合議会議員(4人)

澤 史朗
森 要
小笠原 美保子
佐藤 克成

定例会情報

令和6年 第1回定例会(3月7日～3月29日)

本定例会は、令和6年度当初予算のほか、飛騨市監査委員の選任などを審査するため3月7日から3月29日までの23日間の会期で開催しました。なお、上程された、条例改正や当初予算などの承認2件、56議案については、すべて原案のとおり承認、可決としました。

本会議、委員会審査での質疑応答の主なものは次のとおりです。

● 医療・福祉・介護に関すること

- 議案第25号 飛騨市精神障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例について
受給資格の一部変更及び支給手続の簡素化のための改正

Q 具体的にはどのようなものか

A 1点目は3箇月入院したら、それ以上の期間の手当は支給されない。2点目は業務量の多さから軽減を図り、年1回の支給とする

- 議案第27号 飛騨市介護保険条例の一部を改正する条例について

第9期介護保険事業計画の策定に伴う介護保険料額の改正及び保健福祉事業の位置づけに伴う改正

Q 介護保険料の今後の見通しは

A 市が保有する準備基金2億4千万円を利用し、保険料の安定を図りたい

- 議案第28号 飛騨市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 議案第29号 飛騨市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 議案第30号 飛騨市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 議案第31号 飛騨市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準の改正に伴う改正

Q 訪問回数が減って、スマートフォンの画面で確認するだけで大丈夫なのか

A 利用者の状態によって訪問回数を考慮する。また、モニタリングで行う場合の条件を付して、利用者の不利にならないようにしている

- 議案第32号 飛騨市医療・福祉専門就職準備貸付金貸与条例の一部を改正する条例について
貸与対象者に「臨床検査技師」と「診療放射線技師」を加えるための改正

● 住民サービスに関すること

- 議案第33号 飛騨市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の取り消しについて
郵便局に証明書交付端末機を設置することに伴う、各種証明書交付等の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の取り消し
- 議案第34号 証明書の交付等に係る事務委託の廃止について
戸籍証明書等の広域交付制度の開始等に伴う、飛騨市と高山市、下呂市及び白川村との間の各種証明書の交付等に関する事務委託の廃止

● 国民健康保険に関すること

- 議案第35号 飛騨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令の公布及び国民健康保険法施行令の改正に伴う改正

定例会の概要

Q 負担増となる対象者は自営業の方か

A お見込みのとおり

● 公共交通に関すること

- 議案第18号 飛騨市地域公共交通事業に関する条例の一部を改正する条例について
バス定期券制度の統一化に伴う改正

Q 市の発行する定期券と民間事業者が発行する定期券を統一することで利便性は向上するが、財源は確保できるのか

A 国庫補助の対象となることや年間定期券の発行が多いことなどから財政的な負担は従来とそれほど変わらない見込みである

● 公民館・スポーツ施設等に関すること

- 議案第37号 飛騨市公民館条例の一部を改正する条例について
飛騨市神岡町公民館東分館(公有財産)の廃止に伴う改正

Q 普通財産となる東分館の貸し付けは有償なのか。また防犯・防災の対応はどこが主体か

A 無償貸与とし、防犯等の対応は東大で行う

- 議案第38号 飛騨市スポーツ施設条例の一部を改正する条例について

スポーツ施設におけるレクリエーション振興に伴う利用目的の拡充及び利用実態に合わせた休場期間の見直しに伴う改正

Q 施設の休場期間の見直しについては、指定管理者から出た意見なのか

A お見込みのとおり

- 議案第39号 指定管理者の指定について(飛騨市西忍コミュニティセンター)

指定管理者 宮川町忍区

指定の期間 令和6年4月1日から令和9年3月31日まで(3年間)

Q 管理期間を3年とした理由は

A 区の統合が行われ組織名称が変わったことによる

- 議案第40号 指定管理者の指定について(飛騨市古川トレーニングセンター)

指定管理者 ひだチャレンジクラブ

指定の期間 令和6年4月1日から令和9年3月31日まで(3年間)

Q 指定管理者は継続なのに管理期間を5年ではなく3年とした理由は

A 再公募であったことに加え、社会情勢の変化を考慮し3年とした

- 議案第41号 指定管理者の指定について(飛騨市サン・スポーツランドふるかわ、飛騨市古川町森林公園)

指定管理者 三幸株式会社

指定の期間 令和6年4月1日から令和9年3月31日まで(3年間)

Q 現在の管理者を含む3社の応募があったが、現管理者はこの中に名前があるのか

A 現在の指定管理者がNPO法人であり収益を目的とした事業ができないということで、指定管理を受ける部分についてはNPOとは分離し、別の会社を立ち上げた

● 水道事業に関すること

- 議案第44号 飛騨市水道事業給水条例及び飛騨市敷設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について

生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行による水道法の改正に伴う改正

Q 現在、水道技術管理者は何名か

A 有資格者は5名である

● 会計・積立基金に関すること

- 議案第23号 飛騨市特別会計条例の一部を改正する条例について

令和6年3月31日をもって飛騨市情報施設特別会計を廃止するための改正

Q 情報施設特別会計廃止後、市民への影響はないのか

A 運営は民間事業者に委ねるが、市に寄せられる苦情等については、しっかりと運営事業者に伝える

● **議案第24号 飛騨市積立基金条例の一部を改正する条例について**

飛騨市木育事業基金等の廃止及び変更並びに企業立地促進基金の設置に伴う改正

Q 企業立地促進基金は、今後、どの程度の見込み件数あるのか、また金額はどの程度か

A 令和6年度に2件、7～8年度に2件が見込まれている。金額としては5億を積み立てるが、新規整備・拡張を対象としているため増額することも想定される

● 人事案件に関すること

● **議案第55号 飛騨市副市長の選任同意**

藤 井 弘 史(神岡町)

【選任期間】令和6年4月1日から令和10年3月31日までの4年間【同意】

● **議案第56号 飛騨市教育委員会教育長の任命同意**

下 出 尚 弘(古川町)

【任命期間】令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間【同意】

● **議案第2号 飛騨市監査委員(識見を有する者)の選任同意**

島 田 哲 吉(高山市)

【選任期間】令和6年3月29日から令和10年3月28日までの4年間【同意】

● **議案第3号 飛騨市公平委員会委員の選任同意**

丸 亀 貞 雄(神岡町)

【選任期間】令和6年3月29日から令和10年3月28日までの4年間【同意】

● **議案第4号 飛騨市教育委員会委員の任命同意**

牛 丸 洋 子(神岡町)

【任命期間】令和6年4月1日から令和10年3月31日までの4年間【同意】

● **議案第5・6号 人権擁護委員候補者の推薦同意**

中 村 智 美(古川町) 和 仁 敏 江(神岡町)

【任命期間】令和6年7月1日から令和9年6月30日までの3年間【同意】

● 消防団・防災に関すること

● **議案第42号 飛騨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について**

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴う改正

● **議案第43号 飛騨市手数料徴収条例及び飛騨市消防法等関係手数料徴収条例の一部を改正する条例について**

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正に伴う改正

● 職員の給与等に関すること

● **議案第19号 飛騨市職員定数条例の一部を改正する条例について**

飛騨市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することによる職員定数の変更に伴う改正

Q 職員定数が市長部局から上下水道事業(企業会計)へ5名変更となることで水道料金等への影響はないのか

A 当然、水道料金に含まれており影響はない

● **議案第20号 飛騨市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について**

定年引上げに伴う級別基準職務表の変更及び診療所長の処遇改善に伴う改正

Q 人件費の高騰分に国からの支援はあるのか

A 地方交付税に反映されるものと思うが、現時点では未定である

● **議案第21号 飛騨市会計年度任用職員の給与等及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について**

● **議案第22号 飛騨市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について**

地方自治法の改正に基づき会計年度任用職員へ勤勉手当の支給を行うための改正

Q 勤務成績とは具体的にはどのようなものか

定例会の概要

- A** 一般職員と同様、人事評価によってABCの3段階で評価するので勤勉手当の支給率が変わってくる
- 議案第26号 飛騨市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

非常勤の特別職職員に対して支給する報酬の支給方法の追加及び飛騨市福祉事務所嘱託医の業務内容並びに報酬額の整理に伴う改正

- Q** 鳥獣被害対策実施隊隊員の実費精算と報酬請求の方法に改善の余地があるのでは

- A** 会計処理の適正化と手続きの簡略化のバランスを図っていきたい

● 法律の改正に伴う関係条例の整備に関すること

- 議案第36号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部を改正する条例について

地方自治法の改正により指定公金事務取扱者制度が新設されたことによる改正

● 予算に関すること

令和5年度 補正予算

- 議案第7号 令和5年度飛騨市一般会計補正予算(補正第5号)
31億3,818万3千円を増額、補正後の予算額は、251億5,562万4千円
- 議案第8号 令和5年度飛騨市国民健康保険特別会計補正予算(補正第3号)
事業勘定の570千円を増額、補正後の予算額は、26億9,605万3千円、直営診療施設勘定の342万円7千円を減額、補正後の予算額は、1億9,430万円
- 議案第9号 令和5年度飛騨市後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第1号)
1,222万7千円を増額、補正後の予算額は、4億7,502万7千円
- 議案第10号 令和5年度飛騨市介護保険特別会計補正予算(補正第3号)
保険勘定の1億1,776万4千円を減額、補正後の予算額は、33億7,623万4千円、事業勘定の600千円を増額、補正後の予算額は、2,206万6千円
- 議案第11号 令和5年度飛騨市公共下水道事業特別会計補正予算(補正第3号)
1,984万3千円を減額、補正後の予算額は、13億2,174万1千円
- 議案第12号 令和5年度飛騨市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(補正第2号)
79万7千円を減額、補正後の予算額は、2億292万9千円
- 議案第13号 令和5年度飛騨市農村下水道事業特別会計補正予算(補正第2号)
370万6千円を減額、補正後の予算額は、3億3,033万7千円
- 議案第14号 令和5年度飛騨市下水道汚泥事業特別会計補正予算(補正第2号)
310万円を減額、補正後の予算額は、1億8,476万3千円
- 議案第15号 令和5年度飛騨市情報施設特別会計補正予算(補正第1号)
380万円を増額、補正後の予算額は、860万円
- 議案第16号 令和5年度飛騨市水道事業会計補正予算(補正第1号)
収益的収入の660万円を増額、補正後の予算額は、5億7,881万6千円、収益的支出の2,000万円を減額、補正後の予算額は、5億3,724万1千円
- 議案第17号 令和5年度飛騨市国民健康保険病院事業会計補正予算(補正第3号)
収益的収入の2,351万7千円を増額、補正後の予算額は、15億7,579万1千円

総 務 部

- Q** 物価高騰対策として、指定管理者に対し都度補正しているが他の方法はないのか

- A** 人件費も上がり物価スライドと連動している。指定管理料の上乗せも検討している

宮川振興事務所

- Q** なぜ集落支援員は集まらなかったのか

- A** 人口減少により専属する人がいなかった

市民福祉部

Q 児童保育費の人件費はなぜ下回ったのか

A 予定していた人が集まらなかったためである

農 林 部

Q 産業振興イベント実施委託料はなぜ減額となっているのか

A 飛騨市そば振興組合の解散でイベントが中止となったためである

環境水道部

Q 下水道の耐震化工事をしているが能登半島地震のような地震に耐えられるのか

A 岩盤質なので耐えられる設計になっている

教育委員会事務局

Q 小中学校のエアコンは今年度で全ての特別教室に設置されるのか

A 中学校の特別教室がまだ残っていて令和7年度から実施予定で6室の計画である

令和6年度 当初予算

- **議案第45号 令和6年度飛騨市一般会計予算**
当初予算額は、192億5,000万円、前年度比較、10億5,000万円の増額
- **議案第46号 令和6年度飛騨市国民健康保険特別会計予算**
事業勘定の当初予算額は、25億1,900万円、前年度比較、6,940万円の減額、直営診療施設勘定の当初予算額は、1億9,460万円、前年度比較、340万円の減額
- **議案第47号 令和6年度飛騨市後期高齢者医療特別会計予算**
当初予算額は、4億6,280万円、前年度比較、1,680万円の増額
- **議案第48号 令和6年度飛騨市介護保険特別会計予算**
保険勘定の当初予算額は、3億3,147万円、前年度比較、3,850万円の減額、事業勘定の当初予算額は、2,200万円、前年度比較、200万円の増額
- **議案第49号 令和6年度飛騨市下水道汚泥処理事業特別会計予算**
当初予算額は、1億8,700万円、前年度と同額
- **議案第50号 令和6年度飛騨市駐車場事業特別会計予算**
当初予算額は、370万円、前年度と同額
- **議案第51号 令和6年度飛騨市給食費特別会計予算**
当初予算額は、3,700万円、前年度比較、200万円の増額
- **議案第52号 令和6年度飛騨市水道事業会計予算**
収益的収入の当初予算額は、5億6,468万3千円、収益的支出の当初予算額は、5億4,289万6千円、資本的収入の当初予算額は、1億1,686万8千円、資本的支出の当初予算額は、3億4,262万1千円
- **議案第53号 令和6年度飛騨市下水道事業会計予算**
収益的収入の当初予算額は、14億3,525万8千円、収益的支出の当初予算額は、14億3,321万3千円、資本的収入の当初予算額は、3億3,258万7千円、資本的支出の当初予算額は、7億4,974万1千円
- **議案第54号 令和6年度飛騨市国民保健病院事業会計予算**
収益的収入の当初予算額は、16億2,246万1千円、収益的支出の当初予算額は、19億8,582万9千円、資本的収入の当初予算額は、3,014万5千円、資本的支出の当初予算額は、1億9,557万6千円

総 務 部

Q 防災無線の屋外スピーカーのバックアップ電源はどのようになっているか

A 電池対応で72時間対応できる。また屋外用発電機40台で補充できる

企 画 部

Q 保育園留学は河合保育園の他に拡大は考えているか

定例会の概要

A 受入れ体制のできた河合保育園から始めたが他の地域も可能性あれば実施したい

河合振興事務所

Q 止利仏師バスツアーの募集人員と時期は

A 秋頃1泊2日で15名程度募集の予定である

宮川振興事務所

Q 宮川町公衆トイレ案内看板は何枚立てるのか

A 公衆トイレ3箇所です計9枚設置予定である

神岡振興事務所

Q レールマウンテンバイクの防災マニュアルはあるのか

A 運営するNPO法人で作成済み。防災訓練も実施している

市民福祉部

Q 子育て応援クーポンや出産祝い品は長く続けて欲しいが令和6年度だけの事業か

A 今後も続けたいが、財源がふるさと納税を原資としているので状況を見極めて判断したい

環境水道部

Q 回収されたペットボトルのリサイクル方法は

A サントリーグループと協定を結び、新たなペットボトルに生まれ変わらせる水平リサイクルを実施していく

農 林 部

Q 市による農業用機械の貸し出しの背景は

A 担い手に集約が進む中、毎年機械費用が多額になり経営が成り立たない状況。土木で除雪機械を市が買って貸し出す仕組みを農業の分野でも進める

商工観光部

Q 商工業活性化包括支援で、昨年は2,300万円使っているがどのような成果があるのか

A ものづくり事業では新商品が出ており、ネットショップ支援では、年商億を超える事業者が3社あり販路拡大の事業者が多数ある

基盤整備部

Q 飛騨市が管理する道路照明のLED化はどのくらい進んでいるのか

A 道路照明のLED化は進んでいない。本年度全体の調査を行い、台帳を整理し街路灯も含め関係機関と調整して、次の年度から国の補助をもらいながら計画的に進めていきたい

教育委員会事務局

Q 不登校になる要因に、学校と子供の意識に相違があるというが、どのように考えているか

A 学校と本人の思いにズレがあるのはゼロではないが、令和6年度より学校支援センターを設置し子供の声を受け止め適した支援を行う

消 防 本 部

Q AED設置施設が付近になく、地元行政区等から希望があったのは何箇所か

A 25箇所あり、今年度は10箇所整備し残りは次年度以降に予定している

病院事務局

Q 市民病院のあり方検討会議の内容は

A 年4回程度を予定。建て替えか大規模改修にしても25～30億円程度必要。病院会計で支払うとなる

と年1億円の黒字が必要

● 専決処分の承認に関すること

● 承認第1号 令和5年度飛騨市一般会計補正予算(専決第3号)

【専決第3号】低所得世帯に10万円を給付する国施策のほか、ふるさと納税寄附金の増額に伴う補正

● 承認第2号 令和5年度飛騨市一般会計補正予算(専決第4号)

【専決第4号】道路除雪費用の増額に伴う補正

Q 予備費の中に除雪に充てる分はなかったのか

A 今年度3億円を除雪委託料として予算化し、予備費を1億円充てて執行していたが、その後の降雪により新たに1億5,000万円を予算化しており、現在の執行額は4億3,000万円である

◆ 討 論 ◆

議案第45号 令和6年度飛騨市一般会計予算(賛成者多数で可決されました)

反対討論 籠山恵美子 議員

新年度からの財政調整基金の思い切った組み換えは評価したい。

納得できないのが教育予算でその一つは放課後児童クラブのアウトソーシング。年間1億4千万円の委託費はほぼ市の一般財源だがその積算根拠が不透明。また受託事業者が指導員の人手不足に対応できるかどうかも不透明で、大きな不安要素である。就学援助など扶助費はもっと充実させるべきだし市の教育費は予算全体の9%とわずか。まず早期に10%に引き上げる努力を要望し反対討論とする。

賛成討論 住田 清美 議員

一般会計は192億5千万円と、市制施行後最高額となったが、その要因としては、市民生活を守るために欠かすことのできない公共施設整備の推進である。

人口減少や少子化による担い手不足が懸念される中、少ない人口でもこのまちを維持していくために、自主財源の確保や交付税の不透明な見通しの中、財政調整基金やふるさと納税の有効利用などで持続可能な飛騨市につながる施策となっていることから賛成する。

議案第51号 令和6年度飛騨市給食費特別会計予算(賛成者多数で可決されました)

反対討論 籠山恵美子 議員

市は物価高騰を理由に、新年度から14~15%値上げするがこれを全額保護者負担とする。しかし物価高騰で苦しいのは行政よりも市民生活なのだ。だからこそ国は物価対策支援交付金を追加し、「小中学生の保護者負担を軽減するための学校給食費の支援」として実施を推奨している。

なぜこの交付金を値上げ分に充当しないのか。これは子育て支援に逆行する予算であり、市民に対する背任行為となり到底賛成できない。

賛成討論 上ヶ吹豊孝 議員

給食費に関しては、昨今の物価高騰の影響から、令和4年度と令和5年度予算で、物価高騰対策費として一般会計予算から給食費特別会計に食材費の補填がなされた。

市においては、物価高騰への対応や、子供の成長に必要な栄養価を確保していくためには、給食費の値上げはやむを得ないという考えのもとで、令和6年度の給食費の改定について検討を進められ、保護者からは反対意見はなく、むしろ給食の質の向上等を求める声が多いことから賛成する。

議案	佐藤	中田	小笠原	水上	谷口	上ヶ吹	森	井端 (議長)	澤	住田	前川	野村	籠山	高原
第45号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	○
第51号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	○

賛成：○ 反対：×



澤 史朗 議員

都竹市政 3 期目の展望を問う

①新年度予算で特に重きを置く施策②持続可能の推進で一段ギアを上げる部分
③今後の歳入見込み④ふるさと納税の今後の方針

答 弁 ①小中学校への作業療法士の拡大派遣、台湾やシンガポールにおける現地商談会、企業版ヒダスケなどを事業の拡大に踏み切った②土地利用型農業のあり方の見直し、山之村地区におけるオンライン診療の実証、上下水道施設の統廃合や神岡町における公私連携保育所型認定こども園の設置など③市税の変動は余り無く地方交付税額がポイントとなるが、7月の本年度の算定の結果を待っているのが現状、ここ数年は慎重な財政運営をしていかなければならないと考える。④昨年10月の制度改正の影響で1万円以下の寄附に対する返礼品を廃止、令和6年度の目標額は5億円少ない年間15億円、活用額を年

間5億円と抑えてきたので少なくとも同水準の政策は維持できると考える。

スポーツ施設の維持管理について

①体育館施設の照明のLED化とトイレの洋式化②神岡町市民プールの市民アンケート実施について

答 弁 ①古川町トレーニングセンターは市のスポーツ施設の中で最も利用者の多い施設、平成31年度策定の飛騨市スポーツ施設整備計画では整備の優先度が高い施設として挙げたが、大規模改修が行われないうちに現在に至っている。大規模改修には数億円が見込まれ、これを待っているのは利用者の利便性が向上しないままなので、他の体育館施設についても順次計画的に照明のLED化とトイレの洋式化を進めたい。②神岡小学校プールの改修にあたっては、広い年代層にアンケートを実施し、できる限り利用者のニーズを反映できる施設となるよう検討する。

YouTube ▶



野村 勝憲 議員

市のドアラ返礼品に問題が

ふるさと納税事業の官製談合で2月にある市長が逮捕される。飛騨市のふるさと納税ドアラ返礼品は全て地場産と虚偽答弁。同じ条件の筈の津島・碧南市は年間契約で支出金0円。招待で都竹市長VIPルームでの野球観戦とドーム球場から市職員採用等前提に問う。①他市は支出金0円なのに市は何故中日新聞社に330万円も支払った?②ドアラ返礼品等8事業者の3年間の寄附額は③総務省基準に違反では④最初に交渉した人は?

答 弁 ①事業費として飛騨市の支出②令和3～5年で501万円③総務省指示で1位トートバッグ&ミニタオル2位マグカップ12月で廃止④都竹市長

下呂の入湯税とたんぼの湯の休業について

下呂市の温泉幸乃湯の入浴料は430円で入湯税

0円。私は度々一般質問で低鉱泉のたんぼの湯は入湯税0円にすべきと訴えたのに市は応えず、4月から休業。某議員は1回聞き取りしただけで何も対応せず怒りの声。①下呂市と同じ入湯税0円に何故出来なかった?②休業についての市の見解は?

答 弁 ①入湯税は重要な財源②事業者の判断

古川駅東開発と新しい市営駐車場について

①駅東に温浴場が出来た時指定管理温浴5施設への影響は②集客力のある国道41号から離れ小学校に近い商業施設計画と市内既存店への影響は③気多側で井上工務店(高山市)が市の駐車場・消防器具庫・トイレ等を10月から着工。市と事業者の土地交換協定書は **答 弁** ①詳細な施設計画が示された時点で影響等調査し対応。②商業施設計画の明細な説明を聞いていない。過去には既存店に一定の影響があった。③交渉する土地面積が確定し、駐車場が完成した時点で事務手続を開始。 YouTube ▶





住田 清美 議員

高齢者介護の取り組みについて

団塊の世代が後期高齢者となる2025年を目前に、高齢化率の上がる当市において必要な福祉サービスは受けられるのか。

①利用施設の状況について②介護人材の確保について③社会福祉連携推進法人福祉ひだの今後について

答 弁 ①古川地区では希望するサービスを受けられない人が出ている。一方河合、宮川、神岡地区では稼働率が伸びない施設もある。新年度では市内事業者と連携し、将来を見据えたデイサービスの在り方を検討する組織を設ける。②スタッフの高齢化や夜勤可能な職員、看護師などの専門職の不足は深刻であり、新たな取り組みとして、SNSを利用しイメージ改革に着手する。③物資等

供給・経営支援・人材確保など連携業務を推進している。合併ということについては両法人に委ねる。

文化財の活用と保存について

2月に古川町の姉小路氏城跡としての5つの山城が国史跡に認定された。新年度整備委員会を設置し保存活用計画を策定するが、今後どのように活用するのか。

答 弁 整備委員会のメンバーは、城郭史・文献史学・考古学・まちづくり・防災・森林等の専門家に地元代表者を加えた構成を考えている。山城ガイドについては、比較的登りやすい小島城と古川城について現地での実習を含む育成に着手したい。

市内文化財の保護については多大な労力を費やしているのでアウトソーシングできるものは行っている。今後「文化財保存活用地域計画」の整備を進め、文化財を継承していく。

YouTube ▶



上ヶ吹 豊孝 議員

大規模災害への対応について

昔から飛騨市は岩盤が強く地震には強いといわれ、地震に対する対策や備えが弱いように思います。地震調査委員会は南海トラフ周辺で巨大地震が30年以内に発生する確率を70～80%程度と発表している。長期避難時の市の防災に対する取組を伺う。①大規模避難所に太陽光発電の設置②長期断水への対応について③避難所設営について④水道管の老朽化対策は。

答 弁 ①現時点では整備する予定はないが、総合的に検討する余地はある。②長期断水を前提に給水車の購入により対応する③避難所は一人当たり専有面積が2.0㎡と狭く、3日目を目途に協定宿泊施設に収容する。④水道施設の耐震化は重要性、緊急性、耐震化を考慮して計画的に進めている。また重要な管路は令和3年度までに完了している。

20年後の飛騨市について

厚生労働省の人口推移では、2020年と比較して2050年には飛騨市の人口は11,300人となる予想である。市長は「人口減少先進地・飛騨市の宿命として産業やまちづくりの担い手が急激に減少しても様々な公共サービスや必要な事業をしっかり継続する仕組みをつくる」と発信しているが内容について伺う①20年後のビジョンについて②人口減少対策について

答 弁 ①20年後は高齢者が多くなり、人口減少も加速する。人が少なくても市民生活の中で、特に根幹の部分維持し、サービスを確保し続ける地域を作る。②あらゆる分野において市民の暮らしやすさとか満足度を上げていく。市民の皆さんには、若者・女性が暮らしやすく働きやすい、また、日々楽しさを感じられる環境づくりに各々ができることに取り組んで頂きたい。

YouTube ▶





中田 利昭 議員

人口減少に対応した町づくりについて

飛騨市では人口減少先進地と位置付け臨機応変に対応するとあるが、行政サービスを低下させない為には市内の経済成長を促す施策が必要では？

①飛騨市ビジネスサポートセンターの利用状況と実績②市内総生産と人口減少の関係③市内総生産の拡大について④生産性向上について

答 弁 ①令和5年度は月4日、1日1枠、延べ105件の相談あり。過去5年間で述べ584件の相談があり活発に利用されているものと評価。②極めて多様な要素、外部要因があるが、人口減少イコール経済規模減少では無い③基礎自治体の政策を持ってコントロールできるものではないが、観測指標と位置付け経済活動の推移を比較して市内産業の動向を分析するためのデータとしている。市民生活における課

題に着目、解決を目指すのが基礎自治体のとるべき政策。④生産性向上は飛騨市の政策として正面から取り組めるもの。デザイン、パッケージ等ブラッシュアップ。事業者向けDX化セミナー、各種設備導入に対しての補助制度、スマート農業、高性能林業機械導入支援などの実績あり。

市役所前の駐車スペースのバス専用区画を市民向けの一般車区画に変更すれば？

コロナが第5類に類型され、市民の利用が増えて、時折駐車スペースがない事がある。

答 弁 ①十分に足りてはないが、混雑が予想される時は整理員を配置し、無断駐車にはビラを配布し注意を促している。他方、市役所業務のDX化で住民票や印鑑証明はコンビニで発行が可能となり来場者減少も。②バスは1日平均2～3台となっており、バス枠を全て廃止することはできないが、5台を3台にする事は可能。

YouTube ▶



森 要 議員

市長選挙及び市議会議員選挙の総括について

①市長及び議会議員選挙の無投票当選について②選挙の事前審査に事務手続きの簡素化について③ポスター掲示場設置場所の見直しを。

答 弁 ①私見であるが、市長選挙については、選挙に要する様々なコスト、負担をかけてまで阻止すべき市政ではなかったと判断。当然白紙委任とか全面的信任を意味するものではないと考えており、丁寧に市政に取り組んでいきたい。市議会議員に対しては、2期連続で無投票となった背景には、市民が無関心だというのではなく、社会構造の変化が原因となって、議会議員選挙に出馬する条件の方々が少なくなっている。これが無投票の1つの要因ではないかととらえている。今後企業が社員に対して兼業あるいは副業として認めてい

く、これが必要だと思っている。会社と議員活動を行き来するような仕組みを作ることができれば、持続可能な形で議員を廃止する阻止ができるのではないかとこのように考えている。②他市町村の事務手続きを今一度研究した上で届出書類に関する説明資料をより詳細化、具体化することや、一人当たりの審査時間の見直しを検討していく。③地域からのご意見を伺い、必要に応じて設置個所の見直しを行っていきたい。

飛騨市無電柱化について

今後の計画と飛騨市無電柱化推進計画に向町の路線が追加できないか

答 弁 市道大横丁線の駅前交差点から今宮橋までの510mを整備する。今後計画にしたがい三之町線の整備を順次すすめる。推進計画の見直しについては、壺之町線でも6年かかった。かなり先になるが、第二期以降の計画路線を検討していく。

YouTube ▶





籠山 恵美子 議員

地域防災計画に問う

市の自然災害はこれまで水害と雪害のくりかえしの歴史だが今年元日には、能登地方で大地震災害が起きた。当然市の防災計画は見直しをすべきである。①想定される甚大な被害への対策は②道路寸断時の緊急避難網の確保計画は③一時避難、2次避難の設備拡充をどうする。

答 弁 ①1週間自活できる備蓄品の整備。②市内市道橋梁のうち、43か所を選定し順次耐震化を進めている。③現在市の設備を拡充する計画はない。

介護保険第9期計画の影響は

2000年開始の介護保険料は3年ごとの改定で今や2倍を超す大幅値上げ。物価高騰などで市民生活は悪化している。保険料引き下げなどの支援が必要だ。①介護ヘルパーの基本報酬引き下げで

事業所は倒産につながる。市の支援は。②家族介護手当を増額する支援なしに在宅介護にも頼れない。介護家庭を救済すべきだ。

答 弁 ①事業所の経営支援として、業務のタスクシフトで介護ヘルパーの報酬加算が見込める専門的な身体介護に注力できる方策など実施している。②今後も慎重に検討する。

子育て環境の負担軽減を

①子ども医療費助成を18歳まで完全窓口無料に ②給食費の値上げをやめるべき③放課後児童クラブの外部委託は見直しを。

答 弁 ①高校生世代には医療費負担からさまざま学んでほしいので「償還払い」は変更しない。②ネットでの意見聴取を行ったが給食費改定に反対する意見はなく、値上げは理解いただいたと考える。③外部委託のメリットは人員確保。受託事業者は全国で実績がある。

YouTube ▶



水上 雅廣 議員

人口減少について

①人口減少に対する施策について 有効な人口減少対策が今求められていると思うがどのような対策を取られるのか。

答 弁 一般的に人口減少対策と言われるような、移住・定住の促進や各種の子育て支援など多数取り組んでいるが、これは移住される方を温かく迎え入れたり、子育て世帯の暮らしやすさを向上させるための施策であって、人口減少を緩やかにするという効果を求めているものではない。市民が暮らしやすいまちづくりを全方位的に進めることが結果的に人口減少対策になるという考え方で市政に取り組んでいる。

②持続可能な行政サービスの具体案について③行政改革について どうすれば、行政サービスを維持可能にできるのか。積極的な行政改革を実施

し、財政を立て直す必要はないのか。

答 弁 地方交付税措置額は、人口減少に単純に比例するものではなくて、必要な財源が措置されるような様々な配慮が行われており、財政の危機というような状況には陥っていないと考えている。行政サービスを維持していくための基本的な考え方は、大きな借金をせず公債費を抑制していくことが持続可能な財政運営の基礎であると認識している。令和11年まで合併市であるが故に生じた歪な職員の年齢構成に起因して人件費は全体的に増えていく傾向にあるが、それ以降は、職員が大量退職を迎え職員数は一気に減少に転じる。今後さらに退職者が増えていくということになると、もっと大変なことになってくる。こうしたことを見据え、今DXの推進や業務のアウトソーシング、公共施設マネジメントの見直しを積極的に行い、少ない人数でも行政サービスを維持できる体制を整えたいと考えている。

YouTube ▶





高原 邦子 議員

プライマリーバランスをあまりにも重視過ぎると施策が消極的になるのではないか

所信を読むと優等生の答案になっているが、多くの市民要望に長年にわたり応えていないものがある。市民要望に応じてこそ身近な政治、市政と言える。それを踏まえ質問する。

①スクラップアンドビルド・アウトソーシングへの考え方は②ライドシェアを含めたタクシー事業の現状打開策は③地域コミュニティの再編とはどのようなものか④省エネリフォーム補助金に、能登半島地震を受けて耐震も加えるべき。部署をまたいだ有効なマトリクス的な予算編成はできないものか。

答 弁 ①スクラップアンドビルドは採っていない。市民要望のバランスの上で、今の職員数で全

てを行うことは不可能であり、今年はアウトソーシング元年となる。

②コロナによって営業規模を縮小せざるを得なかったことに起因するが、免許取得補助金の対象を拡充する。ドライバー再就職への奨励金制度を創設し、関係機関との連携・協力をし、新たな体制の構築を図る。

③地域の意思に基づくことを前提として行政区とか地域組織の再編を支援していく。人口が少なくなる中、持続可能な仕組みを作るにはどうしたらよいかを、話し合っていきたい。

④できるだけ一石二鳥ではいきたいが、政策を議論していくときは目的が違うところからスタートする。後になってよく似ていたとなることがあるが、全てをそこまでの議論がしきれるかというと、やはり後に気づくことになってしまう。

YouTube ▶



小笠原 美保子 議員

防災・減災対策について

市民の生命と安全、財産を守り強い飛騨市となりますよう防災対策を。①住民も協力できる初動の計画と避難生活の長期化対策について。②飛騨市国土強靱化地域計画に基づいた取り組みの進捗状況は。③避難時の持ち出し品について。高齢化が進んでいるため平時に取り組めることは。④避難者カードの普及の取り組みを。⑤女性に配慮した避難スペースの確保について。⑥災害は季節も時間も関係なくおこります。冬の避難訓練に対するお考えは。

答 弁 ①初動対応の課題は第1に職員の参集、第2に通信・連絡手段の確保、第3には被害情報の収集であるが初動対応の計画には大きな問題はないと認識している。②道の駅宙ドーム神岡は市指定避難所に指定し防災拠点として使用する。

③「近隣見守りネットワーク」や防災士、関係組織等と連携し進めていく。④有効活用するよう周知を図って参ります。⑤備蓄コンテナに屋内テントを整備し、女性防災士や女性警察官等、配慮していく。⑥避難訓練は不要であるが火災予防は重要であり周知していく。

個人情報の保護について

①ラインアプリの利用者の個人情報が流出したと報じられているが対応は。②政府はラインに関するガイドラインをまとめているが取り組みは。

答 弁 ①ラインアプリは基本的に利用者との双方向の情報交換は行っておらず、市からの情報発信のみ。職員にも業務連絡には用いらないように徹底している。②SNS利用ガイドラインを3月末に改正し遵守した利用を徹底していく。

YouTube ▶





佐藤 克成 議員

図書館の休館日の見直しは

答 弁 飛騨市図書館で休館日を設けずに運営をする場合、職員を4人以上増員する必要がある、人件費・光熱費などの経費の増加が避けられない。限られた財源と人的資源で、可能な限り充実したサービスを提供していく必要がある。市民へのアンケート調査では、現在の月曜休館を含めた運営状況で満足と回答している方の割合は80%で、一定の理解が得られている。

飛騨市国民健康保険（飛騨市国保）について

①飛騨市国保に加入する若年層の保険料の負担が過大と思われるが、市の見解は②飛騨市国保に加入する若年層の軽減措置の検討について

答 弁 ①国民皆保険制度としての医療保険は、健康な方も医療が必要な方もお互いが支え合う制度の

為、医療にかかるリスクに応じて保険料額が決まるものではなく、所得に応じてご負担いただくものであることから、若年層の保険料が過大であるとは一概には言えない。②現役世代への給付が少なく、給付は高齢者中心、負担は現役世代中心という社会保障の構造であるが、国において、全ての世代で広く安心を支えていく「全世代対応型の社会保障制度」の構築を目指して法改正が進められている。

多子世帯を増やす取り組みについて

答 弁 飛騨市は第2子、第3子のいる子育て世帯に対し保育料を減免し支援をしている。第2子、第3子が増えない背景に晩婚化があり、結婚年齢が上昇するほど子供の数が少なくなることが分かっている。これには妊孕性、妊娠する力が大きく関わっており、市として若者世代に対して妊孕性についての正しい知識を得て頂くための講座を開催することに取り組んでいる。

YouTube ▶



前川 文博 議員

脱炭素の取り組みについて？

飛騨市脱炭素推進ビジョン（案）の概要版について説明があった。市の方向性と再生エネルギーの推進、CO₂削減の推進についてどう考えているのか。

答 弁 脱炭素推進ビジョンを公表する。環境課に常勤のグリーン専門人材を配置し、森林による二酸化炭素の吸収量を確保しつつ、再生エネルギー導入に関する手法や事業の実行体制等の検討、構築してCO₂削減に向かっていく。

医療従事者住宅について？

①住宅建設事業者はどこに決定したのか。②提案された住宅の内容と工事のスケジュールはどうなっているか。

答 弁 ①すみれアセットマネジメント株式会社1社のみの応募。②医療従事者向け集合住宅6戸1棟を建築。残余地は同事業者が近隣にあるビジネスホテルを改修し増室する予定で、その宿泊者の駐車場として利用。夏頃までに擁壁工事、既存住宅の撤去、駐車場整備を順次行い、来年2月には医療従事者向け集合住宅が完成して、令和7年4月から入居する。

火災発生時のサイレン吹鳴について？

サイレン吹鳴音が小さくなった。火災発生を知らせる緊急放送と考えるが、なぜ音量を下げたのか。

答 弁 火災発生の際にサイレンを吹鳴し広報する目的は、消防団員の召集のため。夜間等に個別受信機から最大音量でサイレンが鳴ることにより血圧が上がる、動悸が止まらない、心配で眠れない、その後体調不良が続くなど、健康被害の苦情があったため、令和5年12月1日から通常放送の音量に変更した。

YouTube ▶



◆ お知らせ ◆

市民と議員との意見交換会について

今年度の意見交換会は各種団体との意見交換会をメインに実施します。また、一般市民の皆様との意見交換会（オンライン併設）の会場を1箇所に設けて開催する予定です。詳細につきましては後日市ホームページ等でお知らせします。

第2回定例会 日程予定

6月18日(火)	本会議(開会日)	7月1日(月)	常任委員会(付託案件審査)
26日(水)	一般質問(1日目)	2日(火)	予算特別委員会(〃)
27日(木)	一般質問(2日目)	4日(木)	本会議(閉会日)
28日(金)	一般質問(3日目)		

※日程は議会運営委員会で協議し変更となる場合があります

編集後記

2024年、元日の能登半島地震で被災された方に心よりお見舞い申し上げ、また被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類へ引き下げられ、完全ではないもののコロナ禍前の生活に戻ってきたように感じます。

しかしながら、人口減少や少子化による影響で地域の担い手不足が深刻化し、様々な活動が困難となることが予測されます。そうした中であって、地域や市民の皆様からの新たな要望に応えていかなければなりません。

市は「元気であんな誇りの持てる飛騨市」を実現するために、人が少なくても持続できる新しい仕組みづくりの構築と、これまでの施策のさらなる充実・深化を今年度予算のテーマとしています。

議会においても、今まで以上に必要不可欠な制度、政策を見極め、「監視」「議論」「議決」し、議会としての意思を表していくことが重要になります。

本年は甲辰(きのえたつ)です。「甲」は草木の成長を表す意味があり、植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があるそうです。2024年はこれまで準備した結果が実を結び、私たちの生活が大きく「向上」する年になることを願います。(水上 雅廣)